

【1】新市場販路開拓事業

1 収支決算額

○ 収入決算額：22,647,000円

(事業収入：6,192,000円、市負担金収入：16,455,000円)

○ 支出決算額：22,574,844円

2 事業の成果

◆ **受注促進・販路開拓支援事業**：県外企業訪問を中心とした販路開拓を行った結果、引き合い件数623件、進行中の商談を除いて54件の成約があった。燕三条の知名度の高まりにより、刃物製作やステンレス加工に関する案件や商品開発案件などが成約した。また、新規取引見込み先との商談の場として共同出展事業を有効活用し受注に至った。初出展したエネルギー系の展示会は、引き合い件数が少なかったものの、保守・メンテナンス部品の調達担当者から具体的な案件の相談や現在、開発段階で今後試作を重ね数年後には受注が見込まれる案件などを得ることができた。

3 実施事業

(1) 受注促進・販路開拓支援事業（担当：企業支援課）

(収入決算額：22,647,000円、支出決算額：22,574,844円)

① 地域外企業訪問による受注促進

関東圏を中心に機械工具、電器部品、アウトドア用品などのメーカーや商品企画会社、材料商社を訪問し、燕三条地域のものづくり技術力のPRを行ったことにより、新規案件を地域企業に仲介し、受注へと結びつけた。また、案件内容に応じて地域企業と一緒に相手先企業を訪問して、工場見学や打合せを実施した。新規開発案件などは試作や量産までに時間を要することから、継続的にフォローを行い成約へと結びつける。

年 度	受 注 幹 旋 (件)				引合件数 小 計	各 種 相 談
	成 約	見 積 中 検 討	対 応 企 業 紹 介	不 成 約		
H29 年度	54	55	445	12	566	220
H28 年度	50	60	443	5	558	139
H27 年度	58	74	486	23	641	150

・ 引き合いの主な分野

- 1) 工業製品の製造対応 (133件 23.5%)、2) 表面処理 (57件 10.1%)、
- 3) 機械加工 (55件 9.7%)

・ 成約の主な分野

- 1) 工業製品の製造対応 (12件 22%)、2) 板金加工 (7件 13%)、
- 3) 表面処理 (4件 7%)、4) 平面研磨 (4件 7%)、5) 生活関連商品 (4件 7%)

・ 受発注打合せ件数

(単位：件)

年度	地域内(市内) 企業訪問	地域外(県内) 企業訪問	県外企業 出張訪問	県内企業 来室打合せ	県外企業 来室打合せ
H29 年度	759	128	146	144	143
H28 年度	743	113	154	166	211
H27 年度	979	123	129	222	193

② 販路開拓コーディネーターとの連携による受注促進

埼玉県、神奈川県を活動拠点とする中小企業診断士 2 名を販路開拓コーディネーターに委嘱して、関東地域の新規案件の情報収集並びに当地域加工技術の P R 活動、訪問先企業からの企業照会案件の仲介（6 社、11 案件）及び仲介後のフォローを展開した。

③ 地域企業との技術系展示会への共同出展による受注促進

新規受注獲得を目指して東京・大阪で開催された技術系展示会及びエネルギー関連展示会に地域企業と共同出展した。各企業が固有の加工技術や部品、新商品を展示して新規受注の獲得を行った。機械要素技術展では受発注促進業務で商談中であった案件について、地域企業と照会側企業が展示ブースで打合せを行った結果、自動車関連部品の受注に至った。

名称（会場）	開催期間 （共同出展数）	H29 来場者数 （H28） （H27）	H29 引合件数 （H28） （H27）	H29 成約件数 （H28） （H27）
第 21 回 機械要素技術展 （東京ビッグサイト）	H29. 6 / 21-23 （23 社）	88,554 人 （87,469 人） （81,469 人）	198 件 （194）〈23 社〉 （220）〈24 社〉	10 件 （25）〈23 社〉 （18）〈24 社〉
第 20 回 関西機械要素技術展 （インテックス大阪）	H29. 10 / 4 - 6 （9 社）	36,936 人 （48,169 人） （42,216 人）	43 件 （64）〈7 社〉 （55）〈9 社〉	2 件 （4）〈7 社〉 （13）〈9 社〉
第 2 回 次世代火力発電 EXPO （東京ビッグサイト）	H30. 2 / 28 - 3 / 2 （2 社）	64,399 人 （62,426 人）	9 件	0 件

※引合い件数：試作依頼、見積検討、図面照会、後日訪問相談数の合計。

④ 地域内外企業への情報提供

- 1) 登録企業約 670 社を対象として展示会共同出展の募集案内やセミナー開催案内、受発注動向などを FAX で配信した。（リサーチコア通信、全 7 回発行）
- 2) 地域企業の受注を促進するため、これまで当センターに問い合わせ頂いた県外企業の発注担当者等（約 1,700 人）へ地域企業の加工技術や新製品を紹介する情報をメールで配信し、燕三条地域への受注促進を図った。

【2】企業開発力強化事業

1 収支決算額

○ 収入決算額：45,053,406円

(その他補助金収入：600,000円、事業収入：16,079,456円、
市負担金収入：28,373,950円)

○ 支出決算額：44,926,066円

2 事業の成果

- ◆ **産学連携共同研究開発事業**: 当地域企業の技術高度化を目標として、ものづくり革新会議のもと、3分科会と新たに1つを加えた5つの専門研究会を開催し、最新の技術情報を提供するとともに地域企業が抱える共通の課題やテーマを解決するための検討を行い、結果を参加企業へフィードバックすることができた。
- ◆ **技術開発総合支援事業**: 当地域企業からの各種技術相談(知的所有権、材料、熱処理、切削加工、IoTなど)に対し、センター技術職員や企業OBなどの専門家と連携し課題解決を進めた。
- ◆ **燕三条ものづくりメッセ開催事業**: 日本海側最大級のビジネスマッチングのためのものづくり系展示商談会、第4回「燕三条ものづくりメッセ 2017」を開催した。251社・団体が出展し、全国から11,267名の来場があり、終了後の成約件数も124件と十分な成果が得られた。

3 実施事業

(1) 産学連携共同研究開発事業 (担当：技術開発課)

(収入決算額：4,523,526円、支出決算額：4,396,183円)

① ものづくり革新会議

燕三条地域の次世代に中核となる製造技術の方向性を見極めることを目的として、大学や地域企業等と連携し開催した。会議では、地域製造業のコアとなる加工、材料、設計・デザインの3分科会に分かれて情報収集や意見交換を行い、次世代の種となり得る技術について議論を深めた。

・ 期間(回数)：平成29年5月～平成30年3月

(推進委員会1回、シンポジウム1回、分科会/合同分科会は全12回実施)

・ 指導者：推進委員会委員長：長岡技術科学大学 元学長 小島陽 氏

加工分科会指導者：関西大学 名誉教授・評議員 北嶋弘一 氏

材料分科会指導者：長岡技術科学大学 理事・副学長 鎌土重晴 氏

設計・デザイン分科会指導者：新潟大学 地域創生推進機構 教授 尾田雅文 氏

・ 参加者：32人(21社)

② 専門研究会

1) 3Dプリンター活用技術研究会

3Dプリンターを当地域企業の製品開発に応用するため、樹脂系/金属系3Dプリンターの最新情報を提供した。また、先進企業が試作中の金属系3Dプリンターを視察し製品開発への適用を検討するとともに、樹脂系3Dプリンターの造形条件とモデル寸法の間関係を調査して、結果を会員企業へ提供した。

・ 期間(回数)：平成29年7月～平成30年2月(4回実施、うち1回は先進企業見学会)

・ 指導者：長岡技術科学大学 工学部 機械創造工学専攻 教授 南口誠 氏

・ 参加者：16人(15社)

2) エッジ形成と評価技術研究会

各種刃物のカッティングエッジ(刃先)形状と切断メカニズムの関係を明らかにするため、刃先形状が材料の切断に及ぼす影響を、音響信号やシミュレーションなどを組み合わせて評価した。

- ・ 期間(回数)：平成 29 年 5 月～平成 30 年 3 月(4 回実施、うち 1 回は先進企業見学会)
- ・ 指導者：長岡技術科学大学 工学部 機械創造工学専攻 教授 永澤茂 氏
- ・ 参加者：15 人(11 社)

3) 溶接・接合技術研究会

地域企業の溶接技術の向上のために、レーザー溶接やろう付けなどの適用事例や最近の動向について情報を提供した。特にレーザー溶接による薄板の異種材接合に着目して、今後の方向性について議論した。

- ・ 期間(回数)：平成 29 年 7 月～平成 30 年 3 月(5 回実施、うち 1 回は先進企業見学会)
- ・ 指導者：長岡技術科学大学 工学部 機械創造工学専攻 准教授 宮下幸雄 氏
- ・ 参加者：13 人(10 社)

4) 表面処理技術研究会

湿式めっきのシミュレーション技術や化成処理の動向など、表面処理業界の動向について情報を提供した。また、研究会参加企業からの要望をもとに化成処理の前処理工程の課題解決に取り組んだ。

- ・ 期間(回数)：平成 29 年 7 月～平成 30 年 3 月(5 回実施、うち 1 回は先進企業見学会)
- ・ 指導者：(地独) 東京都立産業技術研究センター めっき技術担当 土井正 氏
- ・ 参加者：13 人(13 社)

5) IoT センシング技術研究会

生産現場や製品などの IoT (Internet of Things) 化を目標に、参加企業自身が装置を構築できるように基礎実験や情報提供を行った。基礎実験では市販のマイコンチップと各種センサーを使った簡易なシステムを試作し、製造現場への適応を検討した。

- ・ 期間(回数)：平成 29 年 6 月～平成 30 年 3 月(4 回実施、うち 1 回は研究機関見学会)
- ・ 指導者：長岡技術科学大学 工学部 電気電子情報工学専攻 教授 山崎克之 氏
- ・ 参加者：14 人(13 社)

(2) 技術開発総合支援事業(担当：技術開発課)

(収入決算額：3,230,880 円、支出決算額：3,230,432 円)

① 知的財産権相談

特許や実用新案、意匠などの知的所有権を戦略的に活用するため、当地域の産業に精通した弁理士による月 1 回の個別相談会を実施した。制度についての基本的な相談や自社の知財戦略に関する相談が多く、商標出願や海外出願などの相談に対応した。

- ・ 指導者：ジーベック国際特許事務所 所長 清水善廣 氏、弁理士 小松悠有子 氏
- ・ 相談件数：30 件(14 社)、出願に繋がったもの：5 件(意匠 1 件、商標 4 件)

② 技術専門家派遣

地域企業からの熱処理、切削加工、IoT 等に関する課題の相談に対して、企業 OB などの専門家を企業に派遣し、アドバイスを行った。また、燕三条ものづくりメッセにおいて技術相談会を開催した。

- ・ 実施回数：9 回(指導者：5 人、対象企業：9 社)

③ 職員による技術相談

燕三条地域の企業からの溶接、表面処理などの加工技術や、腐食などのトラブル相談に対して、センター技術職員が解決策を提案した。

- ・ 相談件数：100 件（59 社）

④ 機器利用促進

【機械設備利用状況】

名 称	H29 年度	H28 年度	H27 年度
3D 測定レーザー顕微鏡	34	32	22
多関節型 3 次元デジタイザー	12	21	24
蛍光 X 線分析装置	71	99	51
走査型電子顕微鏡	2	12	7
レーザーマーカー	40	45	36
デジタルマイクロスコープ	9	13	14
3 次元デジタイジング装置	23	21	13
3 次元デザイン CAD システム	32	38	36
万能塑性加工試験機	1	1	5
雰囲気熱処理装置	10	3	1
3D プリンター	21	38	10
合 計	255	323	219

(3) 燕三条ものづくりメッセ開催事業（担当：技術開発課）

（収入決算額：37,299,000 円、支出決算額：37,299,451 円）

「燕三条ものづくりメッセ 2017」

燕三条地域の製造業 125 社を中心に、全国各地域の企業が開発した新製品、技術、サービスなどを一堂に展示紹介する日本海側最大級の展示・商談会を開催した。併催事業として（一社）溶接学会/(公社)日本材料学会と共同で溶接技術講演会を開催した他、3D プリンター活用コンテストなどを開催して集客に努めた。また、東京都・東京商工会議所の特別協力を得て都内企業 14 社の共同出展とともに、発注側都内企業 39 社と受注側企業 114 社による商談会(延べ 320 商談)も開催され、活発な商談が行われた。これらの相乗効果によって、来場者数、引き合い件数ともに増加し、ものづくり系企業のビジネスマッチングの場として実績を上げることができた。

- ・ 会期：平成 29 年 10 月 26 日(木)～27 日(金)（2 日間）
（26 日：10:00～17:00、27 日：10:00～16:00）
- ・ 出展者：251 社・団体（小間数 275 ブース）
- ・ 来場者：11,267 名（10 月 26 日(木)：晴れ 5,155 名、10 月 27 日(金)：晴れ 6,112 名）
- ・ 引合件数：3,116 件（相談、引合・見積件数は、展示会終了時のアンケート結果による）
- ・ 成約件数：124 件（展示会終了時のアンケート結果による）

【3】燕三条ブランド推進事業

1 収支決算額

○収入決算額：53,852,000円

(事業収入：531,000円、市負担金：46,321,000円、
繰越金：7,000,000円)

○支出決算額：53,714,102円

2 事業の成果

◆ **燕三条ブランド推進事業**：燕三条ブランド推進の基礎となる燕三条プライドプロジェクトの各種事業支援・実施のほか、「燕三条 Wing」の運用や首都圏に整備した燕三条製品の使用体験ができる場の活用により、燕三条の商品・技術・食材のPRを図った。

また、地域に精通したコーディネーターやデザイナー及び首都圏で活躍するシェフとともに、プロの使い手のニーズを汲んだ製品開発に取り組み、「ものづくりのまち燕三条」の基盤強化を図った。加えて国内のデザイン賞取得への支援や受賞製品の首都圏での展示などにより、ブランド力強化を推進した。

3 実施事業

(1) 燕三条ブランド推進事業

(収入決算額：53,852,000円、支出決算額：53,714,102円)

① 「燕三条 工場の祭典」

「燕三条 工場の祭典」実行委員会の主催により、各種製品を製造する燕三条地域の名だたる工場が製造現場を一斉に解放し、訪れた工場でものづくりを見学・体験・購入できるイベントを開催した。参加企業による工夫を凝らした演出によって工場の魅力が最大限に発揮され、国内外から多くの来場者があった。また、新たな取り組みとして、全国各地に点在する11産地の展示やワークショップ、トークセッションによる「産地の祭典」を開催し、さまざまなものづくりの体感と課題を共有し、産地間交流のきっかけを図った。

・ 開催日：平成29年10月5日(木)～8日(日) 4日間

(平成28年度：10月6日(木)～9日(日) 4日間)

・ 参加企業：103社・団体(平成28年度：96社・団体)

・ 来場者数：53,294人(平成28年度：35,143人)

② 体感型情報発信事業

首都圏に整備した地域商品を体験できる場(店舗)において、燕三条の高度な技術、高品質な製品、食材等を発信した。実際に製品を使用してもらうことによって興味を高めることができ、その結果として商品や食材の購入方法、観光情報など、月370件程度の問い合わせにつながった。

またインターネットにおいて多くの支持を得て、影響力のある方々に同店舗の取材を依頼し、インスタグラムで画像とコメントを投稿して燕三条の魅力を発信したところ、約10日間で42,742人の閲覧者があり、感度の高い新たな顧客層に向けて有効なPRを図ることができた。

③ プライドプロジェクト事業

1) プロダクトグループ

「お酒を楽しむための道具」をテーマとした商品開発に取り組み、百貨店の企画による日本酒をシーンとしたイベントや「にいがた酒の陣2018」においてPR活動を行った。商品化に着手した案件は5件、そのうち3件(ステンレス鋳物、ステンレス二重構造、桐コースター)が商品化、他2件は各社において開発継続中。

- ・ 開発品：お酒を楽しむための道具（お猪口、酒器、関連商品）

出展日	出展会場	販売実績
H29. 9 月 20 日(水)～10 月 3 日(火)	伊勢丹新宿店	25 種 70 点
H29. 12 月 6 日(水)～12 月 19 日(火)	新潟伊勢丹	7 種 17 点
H30. 3 月 10 日(土)～3 月 11 日(日)	朱鷺メッセ（にいがた酒の陣）	39 種 107 点

2) レストラングループ

○ 燕三条「畑の朝カフェ」の開催

開催日	開催会場	参加人数	備考
H29. 5 /27(土)・ 28(日)	ハーヴェスト：燕市	17 人	ハーブの摘み取り体験
H29. 7 /30(日)	北五百川棚田：三条市	24 人	棚田散策 鋤起銅器、ナイフ体験
H29. 9 /24(日)	渡辺果樹園：三条市	36 人	ぶどうの収穫体験 鋤起銅器、ナイフ体験
H29. 10/15(日)	小杉農園：燕市	9 人	梨の収穫体験 鋤起銅器、ナイフ体験
H30. 2 /25(日)	内山農園：三条市	22 人	蕪や小松菜などの野菜と 苺の収穫体験
H30. 3 /11(日)	本町そ菜出荷組合：燕市	25 人	出荷箱の組み立てと 春きゅうりの収穫体験

○ 「地域の食を活かしたブランド化」セミナーの開催

2019 年秋に開催される新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーンのテーマである「日本海美食旅（ガストロノミー）」の解説、及び食を活かした地域ブランディングと燕三条を発信するためのしくみ作りについてセミナーを開催した。

- ・ 開催日：平成 30 年 3 月 24 日(土)
- ・ 講 師：2019 年 新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーン
総合プロデューサー（株）自遊人 代表取締役 岩佐十良 氏
- ・ 参加者：35 人

3) ツーリズムグループ

○ 燕三条まちあるき事業

「燕三条」の魅力に触れる「燕三条まちあるき」の主催団体として、地元のナビゲーターと一緒にコース企画の取りまとめなどイベント運営の総括を行った。

《2017 春》

- ・ 開催期間：平成 29 年 4 月 8 日(土)～5 月 28 日(日)
- ・ コース数：18 コース 参加延人数：279 人

《2017 夏》

- ・ 開催期間：平成 29 年 7 月 29 日(土)～8 月 20 日(日)
- ・ コース数：6 コース 参加延人数：70 人

《2017 秋》

- ・ 開催期間：平成 29 年 10 月 1 日(日)～11 月 18 日(土)
- ・ コース数：16 コース 参加延人数：208 人

○ 燕三条グリーンツーリズム事業の推進

燕三条エリアで自然体験等の活動に取り組んでいる団体のイベントを取りまとめたパンフレットを作成し、市内小学校全児童(35校 8,798人)に配布し地域の魅力を発信した。

- ・ 24 団体、53 イベント、25,000 部 (H28 : 22 団体、56 イベント、20,000 部)

4) プロモーショングループ

○ ブランキンアート展 2017 の企画・運営

- ・ 出品数 : 20 作品
- ・ 会 場 : 燕三条 Wing、リサーチコア 3F デザインギャラリー
- ・ 期 間 : 平成 29 年 9 月 7 日(木)~11 月 30 日(木)
- ・ 来場者 : 延べ約 1,000 人(うち、スタンプラリー参加者 100 人)
- ・ その他 : ブランキンアート巡回展

ブランディングオフィスアンドオン : 4 月 20 日(木)~7 月 14 日(金)
 (株)諏訪田製作所 : 6 月 13 日(火)~7 月 12 日(水)
 (株)MGNET (TREE) : 6 月 13 日(火)~7 月 12 日(水)
 (株)スノーピーク : 7 月 22 日(土)~9 月 3 日(日)
 新潟伊勢丹 : 8 月 2 日(水)~8 月 7 日(月)
 三条市 環境啓発施設「かんきょう庵」: 8 月 4 日(金)~8 月 13 日(日)
 藤次郎(株) : 8 月 29 日(火)~9 月 24 日(日)
 // : 1 月 26 日(金)~3 月 28 日(水)
 燕市産業史料館 : 12 月 6 日(水)~3 月 31 日(土)

○ ブランキンアート作品集の作成

- ・ 内 容 : 過去 3 回のブランキンアート展出品作 57 作品を掲載
 (2014 : 12 作品、2015 : 18 作品、2016 : 27 作品)
- ・ 作成数 : 200 冊
- ・ 配布先 : 三条市、燕市内の小中学校、後援団体、過去 3 回の制作者など

○ 「燕三条職人のことば集 こうばのじてん」点字版 3 冊セットの作成

- ・ 内 容 : 第 1 版から第 3 版までを点字版として作成
- ・ 作成数 : 60 セット
- ・ 配布先 : 社会福祉法人新潟県視覚障害者福祉協会、三条市、燕市内の小中学校、市立図書館など

5) プライドプロジェクト会議 開催回数

グループ名 (人数)	会議など (回)
プロダクト (20)	13
レストラン (17)	14
ツーリズム (23)	16
プロモーション+JR 燕三条駅 Pro (11)	9
合 計 (71)	52

④ 燕三条 Wing の活用

1) 燕三条 Wing の状況

- ・ 来館者数

区分	H29	H28
来館者数（人）	85,000 (7,083/月)	94,000 (7,833/月)

- ・ 観光コンシェルジュへの照会状況

平成 29 年度： 161 件/115 日（平成 28 年度： 358 件/118 日）

2) Wing イベントの開催

開催日	内 容	参加人数
H29. 4 / 9 (日)	「つまみ細工体験」	10 人
H29. 5 / 3 (水・祝)	「森の小枝でボタンづくり」	9 人
H29. 6 / 25 (日)	「羊毛フェルト体験」	25 人
H29. 7 / 22 (土)	「流木工作」	30 人
H29. 8 / 11 (金・祝)	「ワイヤークラフト体験」	9 人
H29. 9 / 23 (土・祝)	「シルクスクリーンワークショップ」	8 人
H29. 10 / 21 (土)	「スクラップブック入門」	3 人
H29. 11 / 19 (日)	「燕三条 新米フェス 2017」	70 人
H30. 1 / 20 (土)	「ハレの日 Corsage」	15 人
H30. 2 / 18 (日)	「天神講絵付け体験」 「キャンドルづくり体験」	13 人 14 人
H30. 3 / 18 (日)	「オリジナル卓上六角カレンダー作り」	5 人

⑤ デザインギャラリーの運用

- ・ 海外販路開拓に取り組んでいる商品の展示
- ・ 燕三条地域の 2016-17 年度グッドデザイン賞受賞商品の展示
- ・ ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール 2017 受賞商品の展示
- ・ ブランディングアート展 2017 一部出展品の展示

⑥ プロユース向け商品開発事業

首都圏で活躍し発信力・著名性が高く、かつ新潟に縁のある 2 名のシェフと地域企業によるプロ向け商品開発ワークショップを実施した。シェフの意見を基に当地域に精通したコーディネーター、デザイナー、流通関係者がアドバイザーとなり、小ロット特注品への訴求力強化を図ることを目的に開発を進めた。

- ・ ワークショップ開催： 6 回（うち、東京での開催 2 回）
- ・ シェフアドバイザー：タロス（渋谷）他 3 店舗 オーナーシェフ 馬場圭太郎 氏
はっこく（銀座）オーナー職人 佐藤博之 氏
- ・ 参加企業： 4 社

- ・ 開発品：ワークショップを経て8アイテムに着手、7アイテムを開発。
 （海苔缶、調理側引出し内クーラー、おしぼりトレイ、指拭き、卓上クーラー、壁
 掛け花受け、テーブル下ボトルラック、カトラリーレスト）
 カトラリーレスト以外は、モニター用試作品を上記各店舗にて試用中。
 他、かき氷削り機のブランディングと展開。

⑦ 国内デザイン賞取得支援

1) 応募説明会の開催

2017 年度グッドデザイン賞応募説明、及び審査体験ワークショップを開催。

- ・ 開催日：平成 29 年 5 月 10 日（水）
- ・ 説 明：公益財団法人日本デザイン振興会 川口真沙美 氏
- ・ 特別講演：(株)ジシラモトスタジオ 代表 倉本仁 氏
- ・ ワークショップ講師：公益財団法人日本デザイン振興会
- ・ 参加者：32 人（説明会）、12 人（ワークショップ）

2) 燕三条地域プレゼンテーションの開催

- ・ 開催日：平成 29 年 12 月 1 日（金）
- ・ 受賞数：11 社（団体）15 件
- ・ プレゼンテーション：7 社 9 件
- ・ 特別講演：(株)シクリエイティブ 取締役 重野貴 氏
- ・ 参加者：27 人

3) 首都圏での G マーク受賞品 PR 展示

- ・ 開催日：平成 29 年 12 月 15 日（金）～12 月 28 日（木）
- ・ 内 容：2017 年度グッドデザイン賞受賞 15 件、ツインバード工業歴代受賞品 39 件
 （企画展示）、GOOD DESIGN STORE by nohara で販売されている商品 20 件
- ・ 来場者数：11,882 名

⑧ 商品企画・デザイン個別相談

- ・ 相談件数：9 件、16 回（9 社）

⑨ 地域デザイン団体活動支援

- ・ 燕三条デザイン研究会（会員：60 人、全体例会 4 回、グループ 例会 15 回、役員会 3 回）
- ・ つばめデザイン研究会（会員：7 人、全体例会 1 回）

【4】 企業人材育成事業

1 収支決算額

○ 収入決算額：12,204,998円

(事業収入：5,279,998円、市負担金：6,925,000円)

○ 支出決算額：10,791,833円

2 事業の成果

◆ **燕三条ものづくり大学事業(技術研修)**: 当地域企業の製造の技術力向上と人材育成を目的として、図面の見方など基礎的な講座と溶接技術など加工技術をより深く学べる集中講座を開催した。開催した講座の多くで定員を上回る受講があった。

◆ **経営力強化支援事業**: 地域企業の商品の魅力を伝えるためのツールとなる、写真撮影テクニックから画像処理、グラフィックソフトの使い方等一連の情報系講座を実施した。また、営業力の強化や人材育成を中心とした経営系講座も実施した。

戦略的事業創出プロジェクトでは、専門家を継続的に派遣したことにより、新分野進出や新事業立ち上げのスムーズな体制整備につなげることができた。

3 実施事業

(1) 燕三条ものづくり大学事業（技術研修）（担当：技術開発課）

(収入決算額：4,282,000円、支出決算額：2,869,551円)

地域企業の製造・開発部門に必要な金属材料、図面の見方などの基礎技術、並びに溶接、プレス加工などの専門技術の講習会を開催した。また②金属材料、⑨表面処理では、希望者に対して測定実習も行った。

研修講座名	期間（時間×回数）	募集 (人)	実績 (人)
①図面の見方と金属材料・加工基礎講座	H29. 4/24～4/27 (6h×3回)	20	24
②金属材料基礎講座	H29. 5/16～7/25 (2h×11回)	20	21
③図面の見方・描き方入門講座(第1期)	H29. 8/22～9/19 (2h×9回)	20	22
④図面の見方・描き方入門講座(第2期)	H29. 11/28～12/26 (2h×9回)	20	24
⑤製造現場に必要な数学・物理・化学の基礎講座	H29. 6/14～7/12 (2h×5回)	15	18
⑥CAE入門講座	H30. 3/1～3/2 (4.5h×3回)	10	9
⑦溶接技術集中講座	H29. 7/6～7/7 (3h×3回)	15	24
⑧プレス加工集中講座	H29. 11/8～11/29 (3h×4回)	15	17
⑨表面処理技術集中講座	H30. 1/16～1/30 (3h×3回)	15	24
⑩熱処理技術集中講座	H29. 9/29～10/13 (3h×3回)	15	19
⑪知財活用技術講座	H30. 2/16～2/23 (4h×2回)	10	11
⑫燕三条ものづくり現場改善基礎講座	H29. 7/19～8/30 (2h×6回)	20	24
⑬テクニカルプレゼンテーション力強化講座	H29. 11/17～12/8 (3h×4回)	10	11
合 計	(13 コース 65 回 171 時間)	205	248

(2) 経営力強化支援事業（担当：企業支援課）

（収入決算額：7,922,998 円、支出決算額：7,922,282 円）

① 企業向け情報・経営研修会の開催（燕三条ものづくり大学）

IT の活用による業務の効率化と自社商品の販売促進を効果的に行うためのセミナーや、営業先企業のマーケティングを強化することで営業力を底上げする方法を学ぶセミナーなどを開催した。

〈情報系〉

研修講座名	期間（時間×回数）	募集 （人）	実績 （人）
エクセル活用講座①② （仕事の効率を上げる Excel 活用講座）	H29. 5 / 18～ 6 / 1 (2h×5 回) H29. 11 / 7～21 (2h×5 回)	10 10	15 6
ネット販売のための商品撮影集中講座	H29. 10 / 18～20 (2h×3 回)	10	7
初心者のための Adobe Illustrator 講座	H29. 12 / 5～12 (2h×3 回)	8	8
画像処理入門講座	H29. 12 / 13～15 (2h×3 回)	8	6

〈経営系〉

研修講座名	期間（時間×回数）	募集 （人）	実績 （人）
営業力強化セミナー	H29. 6 / 16～ 7 / 13 (2h×3 回)	15	16
中堅若手社員のコスト意識の育成講座	H29. 7 / 14～ 8 / 1 (2h×3 回)	10	13
顧客満足度向上セミナー （「顧客満足度向上と社員満足」）	H29. 9 / 12 (6h×1 回)	10	5

② 経営力強化のための個別相談事業

地域企業が抱える経営上の課題や IT を活用した社内事務作業の効率化、自社商品の販売促進に際しての課題を解決するため、専門家を企業へ派遣して課題解決に向けたアドバイスをを行った。

- ・ 相談件数：3 件、派遣指導者：3 人

③ 戦略的事業創出プロジェクト

地域企業の新事業立ち上げや新商品開発に特化して支援するため、申込みのあった企業に専門家を継続的に派遣した。これにより 1 社では医療機器製造業許可・登録が可能となり、もう 1 社では英語版サイトの構築から大手海外ネット通販サイトへの出品登録までを行い、海外販路開拓の体制が整備されるなどの成果を得た。

- ・ 支援件数：2 件（2 社）、指導回数：計 18 回（10 回及び 8 回）

④ 広報活動の強化

最新の企業支援情報をホームページおよびメールマガジンで発信したほか、各種事業の PR とリサーチコアの利用促進のためリサーチコアレポートを発行した。

1) ビジネス情報の提供

センターHP に企業向け支援情報、イベント、セミナー等のビジネス情報やセンター主催事業の年間スケジュールを掲載した。

- ・ ビジネス情報掲載件数：220 件

2) メールマガジンの発行

- ・ 毎月 1 回配信（年間 12 回及び臨時号 4 回）
- ・ 掲載情報件数：125 件
- ・ 3 月末メルマガ配信登録者数：725 件

3) 広報誌「リサーチコアレポート」の発行(年 3 回)

- ・ 第 14 号（9 月）、第 15 号（12 月）、第 16 号（3 月）

⑤ 県央中小企業支援プラットフォーム、新潟県よろず支援拠点との連携による経営支援

新潟県よろず支援拠点関係機関会議に参加し、利用状況や支援事例、コーディネーターの専門分野などの情報を得た。

⑥ ホームページ・フリースポットの管理・運営

ホームページの閲覧者が必要とする情報を容易に見つけられるように、トップページの構成及びものづくり企業ナビの検索結果一覧のレイアウトを見直し、利便性向上を図った。

⑦ 情報関連機器の維持管理他

業務が円滑に遂行できるよう、各種サーバや I T 機器のメンテナンスとバックアップなどを行った。

- ・ 情報研修室 OA 機器、研修用ビデオ・DVD の貸出し

貸出機器名	貸出件数	利用料金	備 考
パソコン・プロジェクター	12 件	237,998 円	情報研修室、貸出し用 PC 他
研修用ビデオ・DVD	100 本	無料	

【5】海外販路支援事業

1 収支決算額

○収入決算額：41,697,000円

(事業収入：1,306,000円、市負担金：40,391,000円)

○支出決算額：41,190,172円

2 事業の成果

◆ **海外販路支援事業**：縮小する国内マーケットを見据え、燕三条地域の中長期的な海外展開戦略の策定に向け、燕三条海外展開戦略会議を立ち上げた。また、地域企業に有用と思われる各種セミナーの開催、海外産業クラスターとの連携を見据えた調査を行った。

海外販路開拓では、中国でのテストマーケティング、欧州での世界最大級の消費財見本市への地域企業との共同出展、日本貿易振興機構（JETRO）との共同による、シンガポール有名クッキングスタジオの講師・バイヤーの招聘、現地でのモニタリング・テスト販売を実施した。併せて企業の輸出コストを下げるべく、共同輸出体制の仕組みづくりを行った。

インバウンドでは、外務省事業を活用した各国外交官に向けた地域の魅力PRイベントへの参加や、ドイツでのPRイベントの開催、関係機関と連携した旅行社招聘、シンガポール共同事務所を活用した現地旅行社へのセールスコール、旅行博への出展を実施し、燕三条地域へのツアー造成などインバウンド誘客の促進に努めた。

3 実施事業

(1) 海外販路支援事業

(収入決算額：41,697,000円、支出決算額：41,190,172円)

① 燕三条地域の海外展開総合戦略の策定

中長期的な海外展開戦略策定に向け、外部有識者・業界団体・JETRO・金融機関による意見交換会を開催した。

- ・ 専門委員会：平成29年8月22日（火）・12月20日（水）・平成30年2月26日（月）、計3回開催
- ・ 全体会議：平成29年10月16日（月）・平成30年3月16日（金）、計2回開催
- ・ 参加者：専門委員会委員7人、業界団体7人、オブザーバー5人
- ・ 外部有識者：一般財団法人 日本金型工業会 学術顧問 横田悦二郎 氏
株式会社レピス 代表取締役 高田公平 氏
有限会社ハーモニー 代表取締役 根橋玲子 氏

② 海外販路開拓セミナーの開催

1) 「商品情報を海外ユーザーへ！ 世界標準規格を活用した海外販路開拓」

- ・ 内容：商品を世界にアピールするための世界標準の流通フォーマットの活用方法
- ・ 期間：平成29年6月29日（木）・7月13日（木）・7月19日（水）、全3回開催
- ・ 講師：1WorldSync Japan 合同会社 代表執行役員社長 朴水石（パク・スーソク）氏
GS1 Japan（一財）流通システム開発センター 主任研究員 市原栄樹 氏
- ・ 参加者：17社20人

2) 海外販路開拓セミナー・個別相談会（中小企業基盤整備機構との共催）

- ・ 期間：平成29年4月20日（木）～平成30年3月20日（火）計11回
- ・ 参加企業：7社（延べ60社）

3) 「越境 EC ビジネス ワークショップ」

- ・ 開催日：平成 29 年 11 月 27 日（月）
- ・ 講師：日本貿易振興機構 ものづくり産業部 生活関連産業課 課長代理 草場歩 氏
新潟県知事政策局国際課 中国室長 渡辺慎一 氏
日本通運株式会社 事業開発部 課長 由井瑞穂 氏
- ・ 参加者：23 社 32 人

4) 「ロシアビジネスセミナー」

- ・ 開催日：平成 30 年 2 月 27 日（火）
- ・ 講師：有限会社 スガハラアソシエーツ 代表取締役 菅原信夫 氏
株式会社 玉川堂 代表取締役 7 代目 玉川基行 氏
- ・ 参加者：16 社 20 人

③ 中国における販路開拓支援

1) 中国でのテストマーケティングの実施

- ・ 期間：平成 29 年 8 月 1 日（火）～6 日（日）
- ・ 会場：中国四川省成都イトーヨーカドー双楠店
- ・ 参加企業：14 社、110 アイテム

④ シンガポールにおける販路開拓支援・インバウンドの促進

シンガポール共同事務所を最大限活用しながら以下の取組を推進した。

1) 燕三条ものづくり企業海外海外販路開拓プロジェクト (JETRO 共催事業)

○ シンガポールクッキングスクールカリスマ講師・バイヤー・メディアの招聘

- ・ 内容：工場見学、燕三条製品の試用会、商談会
- ・ 実施日：平成 29 年 8 月 29 日（火）～31 日（木）
- ・ 招聘者：クッキングスタジオ講師 3 名、バイヤー、メディア 計 5 名
- ・ 参加企業：8 社

○ シンガポールクッキングスクールでのモニタリング・テスト販売

- ・ 期間：平成 29 年 10 月 1 日（日）～平成 30 年 2 月 28 日（水）
- ・ 会場：ABC クッキングスタジオ・シンガポール
- ・ 参加企業：9 社（16 アイテム）

○ 共同輸出体制の整備のフォロー

シンガポールでの販売拠点の構築と、共同輸出体制の仕組みづくり

- ・ 輸出/通関業者：ツバメロジス(株)
- ・ 委託販売業者：Rozen International（シンガポール）
- ・ 参加企業：11 社 31 アイテム

2) 訪日プロモーション地方連携事業

新潟県内 5 市及び、会津若松市・米沢市・鶴岡市で連携してシンガポール旅行社を対象とした誘客宣伝を行った。

・ 旅行社招聘ツアー

平成 29 年 10 月 28 日（土）～11 月 5 日（日）（うち、燕三条 2 日間）、参加 5 社

・ 現地旅行社セールスコール

平成 29 年 11 月 21 日（火）～25 日（土）、訪問 11 社

・ 旅行博出展：シンガポール「NATAS」

平成 30 年 3 月 23 日（金）～25 日（日）、来場者 83,291 人

3) 製品の販路開拓、旅行者へのセールスの実施(単独)

- ・ ツアー造成： 9 コース (13 本)
- ・ 催行送客： 5 コース (8 本) 計 157 人
- ・ 百貨店・スーパー等へのセールス・市場調査： 29 件 (シンガポール・タイ・香港)
- ・ 現地メディア掲載： 8 件

⑤ 欧州における販路開拓支援・インバウンドの促進

1) アンビエンテ 2018 への出展

- ・ 会期：平成 30 年 2 月 9 日(金)～13 日(火)
- ・ 会場：ドイツ・フランクフルト国際見本市会場
- ・ 来場者：134,600 人 (168 カ国)
- ・ 参加企業：26 社 (共同出展 7 社、各種デザイン賞受賞企業 19 社)
- ・ 商談件数：72 社/者 (28 カ国)、275 件
- ・ 成約件数：7 件、12,118 千円
- ・ 成約見込数：17 件、1,300 千円 商談継続：46 件

2) ドイツインバウンド誘客促進セミナーの開催

- ・ 開催日：平成 30 年 2 月 9 日 (金)
- ・ 会 場：在フランクフルト日本国総領事公邸 (ドイツ・フランクフルト)
- ・ 参加者：12 人

⑥ インバウンド事業の実施

1) 平成 29 年度第 1 回地域の魅力発信セミナー

- ・ 開催日：平成 29 年 6 月 5 日 (月)
- ・ 会場：ホテル椿山荘東京 (東京都文京区関口 2-10-8)
- ・ 主催：外務省
- ・ プレゼン参加自治体：群馬県、伊勢志摩地域、横浜市、燕三条地域
- ・ 参加者数：156 人 (外務省発表)

2) 外国語パンフレットの作成

- ・ 中国語圏からの訪日客に対応する為、簡体字・繁体字の観光パンフレットを作成

3) 海外からの視察・取材対応

- ・ 11 件 (中国 (4)・台湾 (3)・オランダ・ロシア・フランス・イタリア)

⑦ 欧州マーケットに向けたブランド力強化

国際デザイン賞の説明会を開催

- ・ 内容：「iF DESIGN AWARD」応募説明・「red dot design award」概要説明、過去受賞企業によるトークセッション
- ・ 開催日：平成 29 年 6 月 7 日 (水)
- ・ 参加者数：30 人

【6】 需要開拓事業

1 収支決算額

○収入決算額：484,297,032円

（事業収入：484,184,900円、国庫補助金：112,132円）

○支出決算額：388,023,038円

2 事業の成果

◆ **展示・即売事業**：「ものづくりのまち燕三条」を効果的に演出する売り場作り、話題性のある商品の陳列、体験型実演などを含んだ宣伝活動の結果、観光バス来館台数及び売上ともに大幅に増加した。

また、レンタサイクルを導入するとともに、外国人観光客の利便性向上のため、「手ぶら観光」の登録により、インバウンド及び産業観光を推進した。

◆ **燕三条駅観光物産センター事業**：関心の高そうな商品を効果的にレイアウトし、より一層お客様の目に触れる機会を増やした。

また、中国・台湾などアジア圏を中心に外国人観光客は増加しており、それに伴い免税金額も伸びた。

3 実施事業

(1) 展示・即売事業

（収入決算額：413,586,898円、支出決算額326,079,191円）

① 収入実績

年度	展示出品収入	販売売上収入	外商販売収入	合 計
H29	6,553,400 円	400,446,965 円	14,367,503 円	421,367,868 円
H28	5,889,511 円	363,984,375 円	25,046,349 円	394,920,235 円
H27	6,969,400 円	338,279,179 円	25,016,296 円	370,264,875 円

② 自主イベント等の実績

イベント名称	開催期間	来場者数
GW フェア	H29. 5 / 3 ～ 7 5 日間 (H28. 5 / 1 ～ 5 5 日間)	約 17,326 人 (約 14,630 人)
お盆フェア	H29. 8 / 11 ～ 16 6 日間 (H28. 8 / 13 ～ 16 4 日間)	約 18,376 人 (約 11,357 人)
年末フェア	H29. 12 / 1 ～ 3 3 日間 (H28. 12 / 2 ～ 4 3 日間)	約 9,938 人 (約 15,000 人)
観光バス来館	通年	1,518 台 (860 台)

※下段（ ）：H28 年度実績

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人来館者数	購入金額	免税件数	免税購入金額
H29	259,058 人	2,312 人	13,105,893 円	591 件	11,301,958 円
H28	267,572 人	1,159 人	7,557,421 円	286 件	7,192,052 円
H27	188,025 人	1,170 人	9,063,412 円	257 件	6,737,007 円

④ その他実績

手ぶら観光	レンタサイクル
50 名（内外国人 9 名）	96 名

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

（収入決算額：事業収入：70,710,134 円、支出決算額：61,943,847 円）

① 収入実績

年度	展示出品収入	販売売上収入	外商販売収入	合 計
H29	2,508,000 円	65,331,143 円	2,511,023 円	70,350,166 円
H28	2,508,000 円	60,238,924 円	1,082,070 円	63,828,994 円
H27	2,508,000 円	70,121,309 円	602,806 円	70,726,623 円

② 自主イベント等の実績

イベント名称	開催期間	来場者数
GW フェア	H29. 5 / 3 ～ 7 5 日間 (H28. 5 / 3 ～ 5 3 日間)	約 1,748 人 (約 1,370 人)
お盆フェア	H29. 8 / 11～15 5 日間 (H28. 8 / 13～16 4 日間)	約 2,308 人 (約 2,171 人)

※下段（ ）：H28 年度実績

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人来館者数	購入金額	免税件数	免税購入金額
H29	85,307 人	759 人	3,814,237 円	204 件	3,308,859 円
H28	94,072 人	582 人	2,399,288 円	161 件	1,446,651 円
H27	95,600 人	521 人	2,161,453 円	66 件	1,151,259 円

④ その他実績

手ぶら観光
59 名（内外国人 5 名）

【7】 収益事業

1 収支決算額

○収入決算額：151,897,076円

○支出決算額：96,403,614円

2 事業の成果

- ◆ **他地域連携販売事業**：多彩なイベントを併設した年末フェアや道の駅交流販売を開催し、燕三条地域外からも多くの集客を図り、県内特産品の販売も併せて行うことで、観光施設のイメージアップと燕三条製品の集約的なPRを行った。
- ◆ **貸館事業**：貸館利用促進のため見本市展示会総合ハンドブックへの広告掲載を行なった。また、お客様とコミュニケーションを密に取り、スムーズな運営ができるように心掛けるとともに、お客様の声を吸い上げ、より良いサービス提供に努めた。また、急な要望にも早急に対応するようにした。
- ◆ **レストラン運営事業**：燕三条製品のカトラリーやテーブルウェアで地場食材の料理を提供し、好評をいただいている「選べるカトラリー」で燕三条の良さを感じていただいた。
レストランオリジナル商品の「くるまふラスク」のアイテムを増やしたことにより販売の売上増につながった。

3 実施事業

(1) 他地域連携販売事業

(収入決算額 27,557,423 円、支出決算額 21,250,203 円)

年度	地域外取扱商品販売金額	他地場産センター商品販売金額
H29	25,696,723 円	810,700 円
H28	31,054,103 円	2,185,793 円
H27	9,240,737 円	2,525,051 円

(2) 貸館事業

(収入決算額：66,001,914 円、支出決算額：15,458,345 円)

【会場利用状況】

- ・ 施設利用者数：181,769 名（前年度 185,689 名）
- ・ 施設利用状況（金額・利用率） ※（ ）内数字は内部利用を含む

施設名	29 年度	28 年度
<u>メッセピア</u>	49,912,079 円	48,686,698 円
1F：多目的大ホール	26.7% (30.8)	25.6% (30.1)
3F：中会議室	40.2% (42.2)	38.4% (38.9)
4F：大会議室	31.2% (35.2)	32.6% (35.2)
特別会議室	2.3% (4.3)	1.4% (3.6)
小会議室（和室）	22.8% (24.0)	19.1% (19.9)
5F：総合研修室	34.6% (38.1)	35.9% (40.8)
ミーティングルーム	44.4% (46.4)	46.4% (49.5)

<u>リサーチコア</u>	15,704,335 円	15,293,112 円
6F：研修室	25.4% (27.5)	24.9% (26.4)
7F：マルチメディアホール	24.0% (25.7)	24.2% (26.0)

(3) レストラン運営事業

(収入決算額：58,337,739 円、支出決算額：59,695,066 円)

レストラン収入決算額の推移

年度	収入決算額
平成 29 年度	58,337,739 円
平成 28 年度	59,132,677 円
平成 27 年度	49,959,232 円

附 属 明 細 書

平成 29 年度事業報告には「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属明細書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に該当の事実はありません。

附 属 明 細 書

平成 29 年度事業報告には「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属明細書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に該当の事実はありません。